

検討協議会での検討状況

入曽地区の中学校の統廃合については、あらかじめ、関係する中学校の保護者、自治会関係者、地域住民等の代表及び中学校長等で組織する入曽地区中学校統廃合検討協議会を設置し、検討協議を進めてきましたが、同協議会での検討状況及び同協議会のなかに設置した学区部会での検討状況は、次のとおりです。

(1) 検討協議会での検討状況

第1回（平成23年1月20日）

基本方針の内容を確認したうえで、入曽地区の中学校の現状、生徒数及び学級数の今後の見込み、小規模校の課題等について説明した。

第2回（平成23年5月25日）

入曽地区の中学校を統廃合した場合の効果及び課題を挙げながら、統廃合の必要性について意見を交わした。

第3回（平成23年7月21日）

小規模校（11学級以下）の問題点や課題を踏まえて、小規模化が進む入曽地区の中学校の問題点について意見を交わした。

第4回（平成23年8月24日）

入曽地区の中学校について、統廃合を進めていく方向で意見が集約された。

第5回（平成23年10月5日）

入曽地区の中学校の統廃合については、入間中学校を統廃合の対象校として、今後、具体的な検討を進めることが合意された。

合意事項

入曽地区の中学校の統廃合については、校舎の老朽度や運動場の面積などを総合的に勘案し、入間中学校を統廃合の対象校とし、今後は、通学区域の見直しや統廃合の時期等について、具体的に検討を進める。

第6回（平成24年1月27日）

小学校関係者を検討協議会委員に加えること及び通学区域の見直しを検討する部会（学区部会）を設置することが確認された。

第7回（平成24年3月21日）

平成24年度の検討協議会の委員構成及び学区部会の委員構成について検討した。

第8回（平成24年12月19日）

学区部会での検討状況が報告された。

第9回（平成25年 3月14日）

学区部会での検討結果を踏まえて、特別許可地区を設定した通学区域の見直しの内容及び統廃合の時期について合意された。

合意事項

・通学区域の見直し

入間中学校区内を通る西武新宿線の線路を境に、西側の区域を入間野中学校に通学区域に、東側の区域を山王中学校に通学区域に編入する。ただし、山王中学校の通学区域となる線路の東側の区域については、入間野中学校への通学も可能とする。

また、入間野中学校区の通学区域のうち、御狩場小学校の部分を山王中学校の通学区域に編入する。ただし、御狩場小学校区内に居住して入間野中学校に通学している生徒で、統廃合時に中学2年生と中学3年生になる生徒については、山王中学校に移らず、入間野中学校に在籍したまま卒業することも可能とする。

・統廃合の時期

統合の時期については、平成27年4月とする。

第10回（平成25年6月5日）

統合先の中学校の名称については、現行のままとすることが合意された。また、提言（入曽地区の中学校の統廃合に関する計画）の内容について検討した。

合意事項

統合先の中学校の名称については、山王中学校及び入間野中学校の名称をそのまま継続する。

第11回（平成25年7月24日）

提言（入曽地区の中学校の統廃合に関する計画）の内容について検討した。

第12回（平成25年10月23日）

提言（入曽地区の中学校の統廃合に関する計画）の内容について検討した。また、通学路について、協議会委員が調査することとした。

・通学路実地調査

下校時間帯に、想定される通学路を協議会委員が自転車や徒歩により実際に通行し、通学路の状況を調査した。

11月5日 入間野中学校から水野公民館までの2ルート

第13回（平成25年11月26日）

提言（入曽地区の中学校の統廃合に関する計画）の内容について検討した。

（2）学区部会での検討状況

第1回（平成24年6月20日）

通学区域の見直し案を提示し、これについて検討した。

第2回（平成24年7月25日）

通学区域の見直し案について検討した。

第3回（平成24年9月25日）

想定される通学路について、学区部会委員が調査することとした。

・学区の見直しに伴う通学路実地調査

通学時間帯に、予想される通学路を学区部会委員が実際に歩き、通学路の状況を調査した。

10月10日 石山記念病院近辺から山王中学校まで 約4.1km

10月12日 水野公民館から入間野中学校まで 約2.8km

第4回（平成24年11月21日）

通学区域の見直し案について検討した。

第5回（平成25年2月5日）

通学区域の見直しについては、西武新宿線の線路を境に、西側の区域を入間野中学校の通学区域に、東側の区域を山王中学校の通学区域に編入すること等が合意された。